

わくわく中国文化



—中国の世界遺産⑩—

Illustration by KOH_HSL(instagram)

中国の世界遺産⑩

甘粛省の略称は「甘」と「隴」です。甘粛省は中国の北西部に位置します。面積は42.58万km²です。中国国内では西は新疆ウイグル自治区、東は陝西省、南は四川省と青海省、北は寧夏回族自治区及び内モンゴル自治区に隣接します。国外はモンゴルにつながります。甘粛省の地形は細長い形をしており、複雑な構造になっています。地勢は南西から北東に傾いています。4つの気候帯を持っており、南から北まで見ると、亜熱帯モンスーン気候、温帯モンスーン気候、温帯大陸性半乾燥気候、高原気候に属します。常住人口は2465.48万人です（2023年末）。省都は蘭州市です。

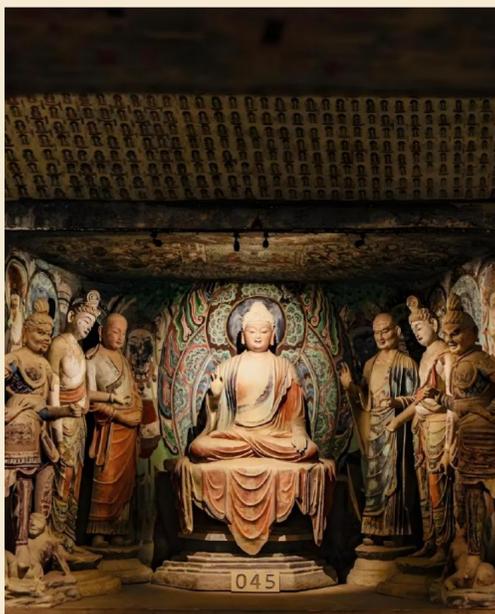
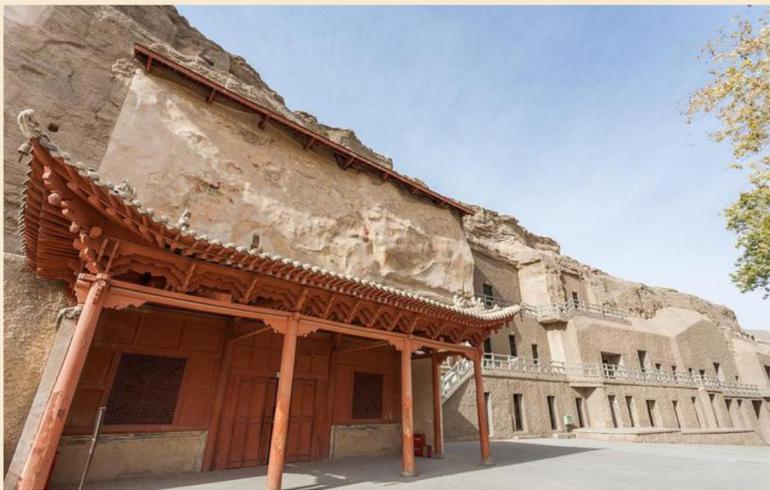
甘粛省には世界遺産が7つあります。主に敦煌莫高窟とシルクロード長安・天山路回廊地帯の2件に分かれています。今回は（1）敦煌莫高窟、（2）麦積山石窟、（3）炳靈寺石窟の3つについて紹介します。

敦煌莫高窟

莫高窟の俗称は千仏洞です。精美な壁画や彫像で世に名を知られています。作られ始めたのは五胡十六国時代の前秦の支配下にあった時期でした。現存する洞窟が735あり、壁画が4.5万km²あり、仏塑像が2415尊安置されています。敦煌莫高窟は現存する世界最大かつ最も豊かな仏教芸術の聖地です。

1900年、道教の王道士が不意に経典の洞窟を開いてしまったため、数百年間ひっそりとしていた敦煌の莫高窟が再び世界の注目を集めるようになりました。石窟や彫像、壁画、巻物、文書などの千年にわたり残ってきた宝物は輝いています。人類文化の目線に再び戻り、人類の敦煌は世界文化の高台に立っています。

1987年に世界文化遺産に登録されました。



甘粛 G A N S U

中国の世界遺産⑩

シルクロード：長安-天山回廊の交易路網

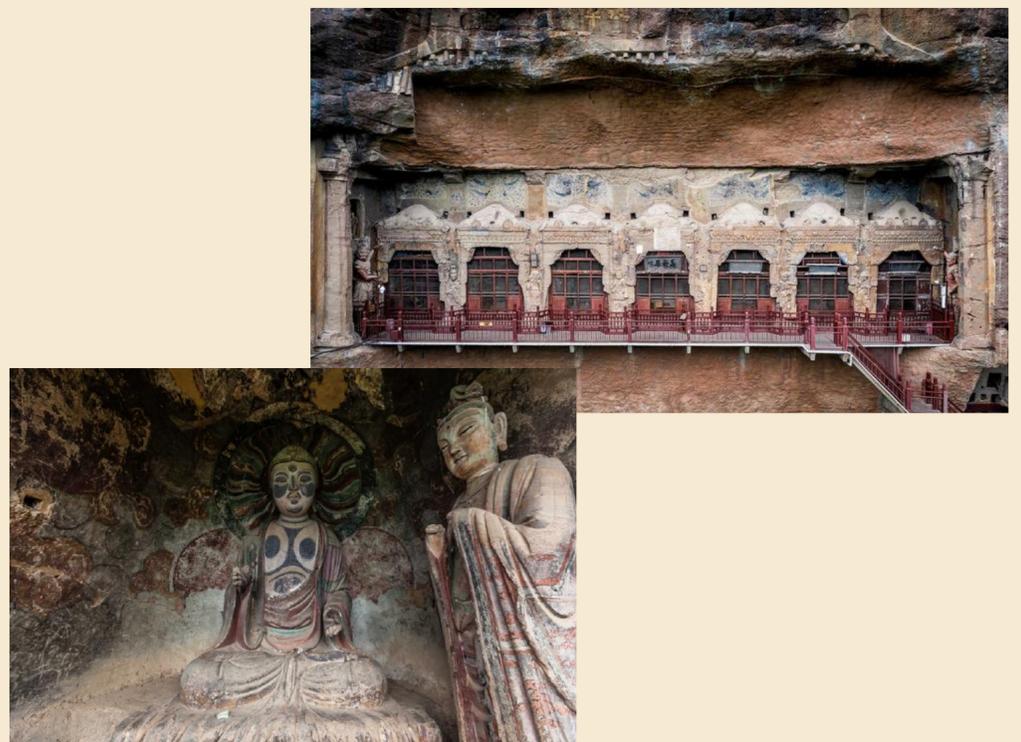
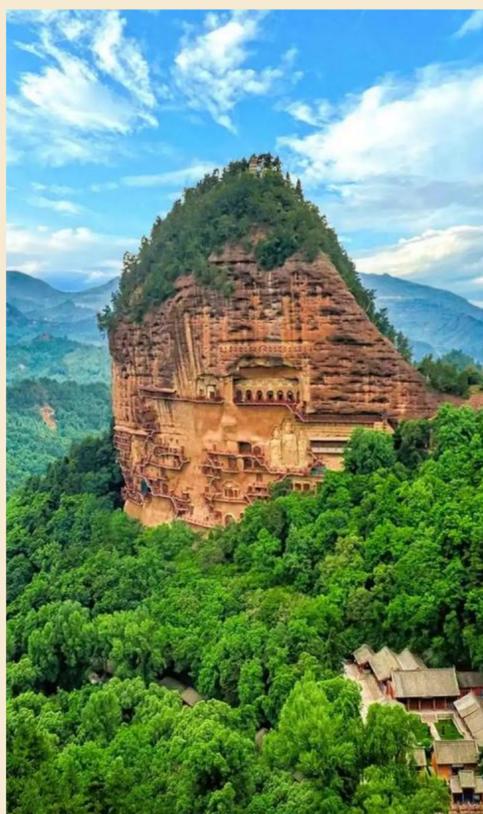
この遺産は、漢・唐時代の中国の中心首都であった長安/洛陽から中央アジアのゼティス地域にわたる5000kmのシルクロードネットワークの一部です。紀元前2世紀から1世紀の間に形成され、16世紀まで使用されています。複数の文明を結びつけ、貿易や宗教信仰、科学知識、技術革新、文化風習、芸術などの活動における交流を促進しました。シルクロードは33の構成要素からなり、さまざまな帝国の首都や宮殿建築群、貿易集落、仏教の石窟、古代の道、宿場、関所、烽火台（のろしだい）、万里の長城の一部分、要塞、陵墓、宗教建築物が含まれています。

麦積山（ばくせきざん）石窟

麦積山石窟は甘粛省天水市の南東に位置します。石窟群が194あり、仏教彫刻が7200尊余りあり、壁画が約1000km²あります。第1窟から第50窟は西側の断崖上にあり、東側の断崖には第51窟から191窟があります。中国四大石窟の一つで、美しい自然景観と静かで精美的な洞窟芸術で名高いです。

掘られ始めたのは五胡十六国時代の後秦時期でした。それから10以上の王朝時代を経て修繕と拡張が続けられ、まるで無口の歴史の証人のようで、中国における仏教の伝播と発展を目撃しました。後世の仏教芸術に極めて大きな影響を与えました。そのため、「東方彫塑陳列館」とも呼ばれています。

2014年にシルクロード長安-天山回廊の交易路網の一部として世界文化遺産に登録されました。



甘粛

G A N S U

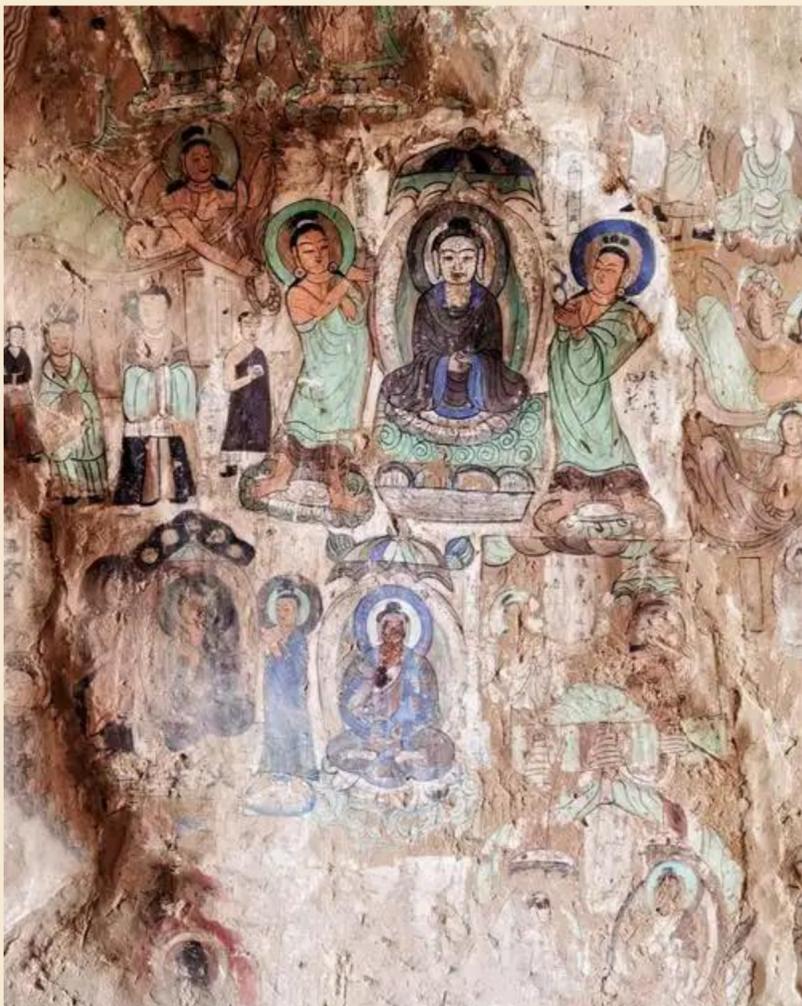
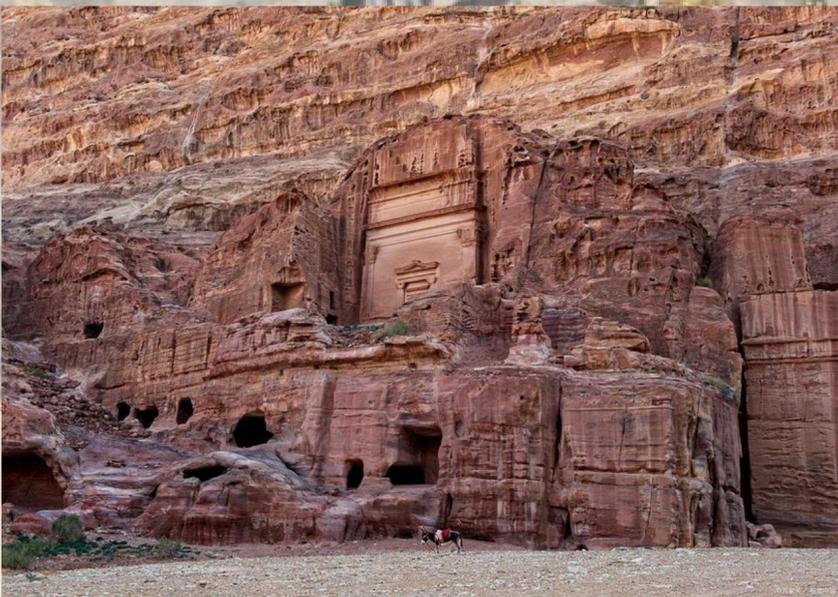
中国の世界遺産⑩

炳靈寺（へいれいじ）石窟

炳靈寺石窟は甘肅省永靖県の南西に位置します。現存する窟龕（くつがん）が196あり、仏教石像が694尊あり、仏塑像が82尊あり、900m²以上の壁画があります。

炳靈寺石窟は黄河沿いの溪谷にあり、あたかも壮麗な歴史の巻物のように立っています。ここの壁画は夢の世界のようにカラフルで、仏像は厳かでしめやかです。すべては心を揺り動かします。炳靈寺石窟は西秦時代に作られ始め、仏教芸術の珍宝だけでなく、古代シルクロードの文化交流及び民族融合に研究する貴重な文物でもあります。無数の歴史的記憶と文化暗号を持ち、シルクロード上に欠かせない珍しい芸術の宝物です。

2014年にシルクロード長安-天山回廊の交易路網の一部として世界文化遺産に登録されました。



甘肅

G A N S U